

理研シンポジウム “小型中性子源によるものづくり材料変化の透かし撮りへの挑戦”

報告

2015年1月16日13時より、理化学研究所 鈴木梅太郎ホールにて、シンポジウム開催しました。200名近くの方がお集まりくださり、緑川克美領域長の挨拶で始まりました。



共催の日本鉄鋼協会参与、ジェネラルマネージャーの鈴木信邦様のご挨拶

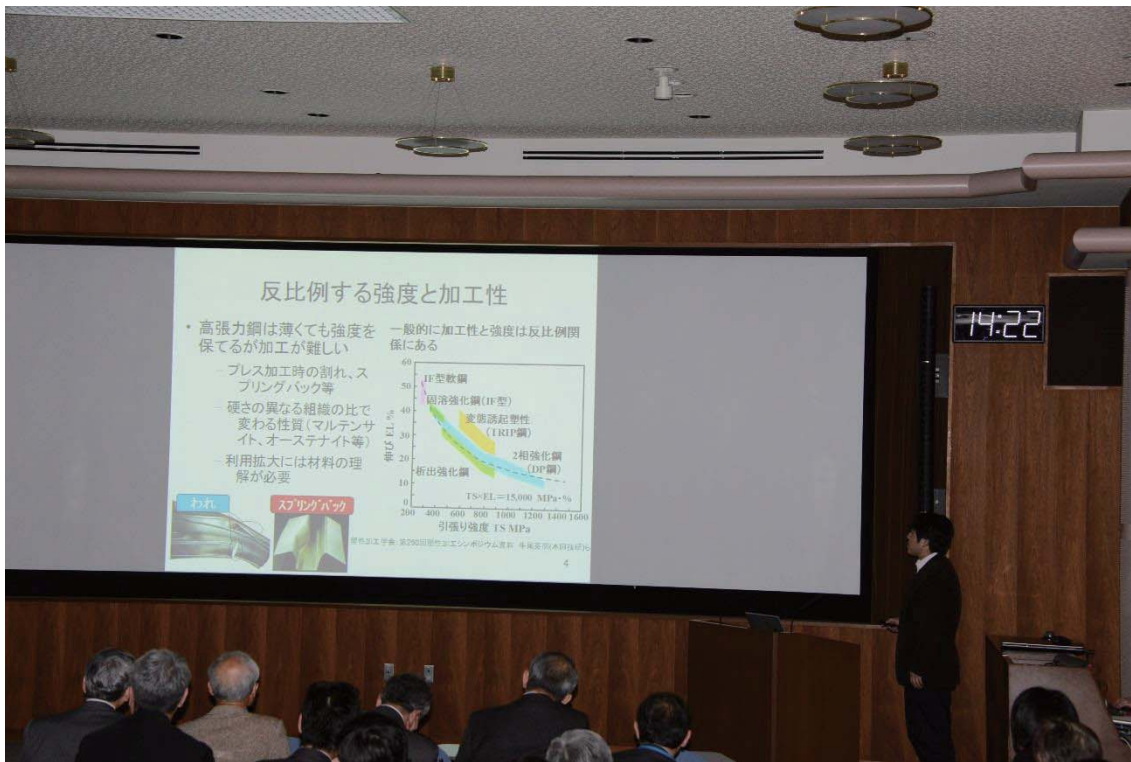




シンポジウムは理研大竹によるRANSと鉄鋼協会研究会 I の講演から開始した。



理研 池田義雅特別研究員による「RANS」による中性子回折実験への取組み 講演。



佐野雄二 ImPACT プログラムマネージャーによる質問風景



竹谷副チームリーダーによる「高速中性子を使った非破壊検査システム開発」講演に対する質疑への応答の様



子。

橋梁調査会大石審議役（元 土木研究所理事）による橋梁非破壊検査の重要性に関するコメント



森井プログラムオフィサーによる質問



質疑応答時のP Oの先生方、後列にはご講演いただいた再委託先北大大沼先生、
理研竹谷副チームリーダー、池田特別研究員ら



大同特殊鋼 植田茂紀様ご講演の様子



会場の様子（理化学研究所 鈴木梅太郎ホール）京大 大場洋次郎様ご講演



シンポジウム終了後の歓談の様子。

